

車両整備とは…？

車両整備は、航空自衛隊で使用している乗用車、給油車、牽引車、清掃車、救難車、消防車など普通の自家用車とは全く違ういろいろな車の整備をしています。

航空自衛隊の車両整備って、実はとても重要な仕事です。航空自衛隊と聞くと、空を飛ぶ「戦闘機」や「パイロット」を思い浮かべる人が多いかもしれませんが。

でも、その航空機がきちんと飛べるように支えているのが、「地上の車たち」です。

そして、その車を整備しているのが航空自衛隊の「車両整備員」なのです。



車両整備のお仕事は何をするの？



・ 専門技術で守る「安心」

(車両ごとに違う構造・動き・整備マニュアルを熟知し、専門の工具と知識を使って点検・整備を行います。)

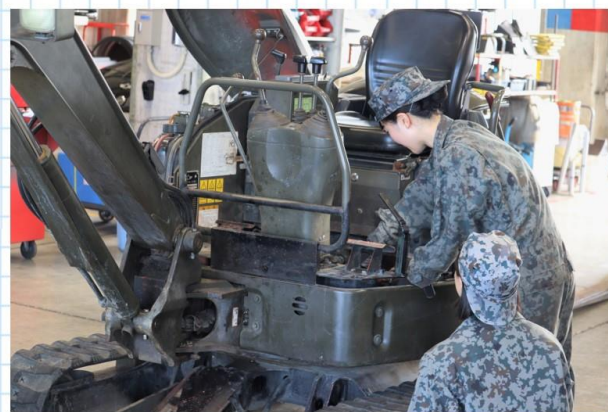
・ 「故障ゼロ」を目指す予防整備

(航空自衛隊の車両整備では、「いつでも働ける状態を保つ」ための予防整備が徹底されています。)

・ 連携のとれた作業

(複数人で作業を分担し、チェックし合いながら整備を進めます。)

1つの小さなミスが全体に影響を与えるため、高い集中力と責任感が求められます。)



車両整備の隊員に聞いてみました！

車両整備員

車両整備のやりがいはなんですか？



私たちが整備した車両がきちり動いて、任務がスムーズに進んでいくのを見ると、「支えている実感」が湧きます。

表に出る仕事ではないけれど、「私たちの整備が、部隊全体の力になっている」と思えるのが、いちばんのやりがいです。



車両整備のお仕事で大変なことはなんですか？

「いつでも確実に動けるように整備する」というプレッシャーがあります。

自衛隊の車両はただの移動手段ではなく、「任務の一部」です。

たとえば消防車が1台でもトラブルを起こすと、

航空機の離発着が遅れることもあります。

その為、小さな異常も見逃さない注意力や責任感が求められることです。



ベテラン 車両整備員

